

# おいしい米づくり情報 No.8

～中干し + 適正穂肥 = 高品質・良食味！！～

村農業第24号

中干し・作溝により、穂肥のできるスッキリ稲に仕上げましょう！！  
出穂期は平年並みの見込み。穂肥は遅れず適量を施用しましょう！！

## ☆6月30日の生育状況(農業技術普及課作柄診断ほ等)

場所 品種	年次	草丈 cm	茎数 本/m <sup>2</sup>	葉数 枚	葉色 SPAD
山形市南石関 はえぬき	本年	46.6	704	8.9	40.8
	前年	46.2	831	9.2	45.3
	平年	49.8	746	9.3	42.3
	平年比	94	94	-0.4	-1.5
中山町豊田 はえぬき	本年	46.4	554	8.9	43.1
	前年	44.0	559	9.1	48.1
山形市南石関 コシヒカリ	本年	41.8	595	9.1	35.3
	前年	42.6	621	8.1	40.4

※茎数はほぼ平年並みに回復し、全般に目標の有効茎は確保されています。葉数から見た生育の進み具合もほぼ平年並みです。

## ☆出穂期の見込み

- ・現在の葉数の状況から判断すると、**出穂期は平年並み**の見込みです。  
(平坦のはえぬきで、8月7日頃)

## ☆水管理のポイント

- ・中干しは、作溝を切って効果を高めながら、小ひびが入る程度を目安としましょう。
- ・中干し終了後は根傷みを防止するため、走水程度とし、飽水状態にしてから「間断かんがい」に移行しましょう。

### 《中干しの効果》

- ①窒素の吸収を抑え、土壌中の余分な窒素を抜き、無効分げつの発生を抑えることにより、穂肥のできるスッキリとした稲姿になります！
- ②根の張りが良くなり、登熟後半も根の活力が維持されます！！

### 《作溝の効果》

- ①表面積を増やし、上記の中干しの効果を高めます！
- ②溝を水が移動し、中干し後の水管理（間断かんがい）が行いやすくなります！！

## ☆病害虫防除のポイント

### 《斑点米カメムシ対策》

- ・6月30日のすくい取り調査では、イネ科雑草が繁茂している畦畔を中心に、アカヒゲホソミドリカスミカメの成虫と幼虫が確認されています。
- ・農道・畦畔の草刈りを徹底するとともに、イネ科雑草主体の休耕田等は、地域の相互協力のもとに、まめに耕耘し、斑点米カメムシの増殖を抑えましょう。



## 《葉いもち対策》

- ・今年も、本田でいもち病の発生が確認されました。こまめにほ場を見回り、病斑を発見した場合は直ちに薬剤防除を行いましょ。

## 《農薬は使用基準の遵守、履歴の記帳を！》

- ・すべての農作物に農薬の残留基準が設定されており、それを越えた残留農薬のある農作物は、流通が禁止されます。
- ・農薬の使用に当たっては、使用基準(希釈倍数、量、使用時期等)を守ることはもちろん、これまで以上に、農薬の飛散が起こらないよう、細心の注意を払いましょ。

## ☆穂肥のポイント

- ・「はえぬき」は、幼穂形成期(出穂25日前:幼穂長 0.5~0.9mm)に窒素成分で **2.0kg/10a** を基本として、葉色のさめを確認し(葉色板で5番以下)、**遅れず**に施用しましょ。
- ・茎数が多く、葉色が濃いほ場では、緩効性肥料を使用せず、**施肥量を減らし(窒素成分で 1.5kg/10a 程度)遅れず**に施用しましょ。

### ◎品種別の穂肥の目安 (N成分 kg/10a)

地帯・品種名	予想出穂期	穂肥時期と施用量の目安						
		緩効性肥料(一発穂肥)の場合		速効性肥料(NK化成等)の場合				
		出穂30日前		出穂25日前	出穂20日前	出穂15日前		
平坦部								
あきたこまち	8月1日頃	7/2	2.5~3.0	—	7/12	1.5	—	—
ひとめぼれ	8月4日頃	7/5	2.5~3.0	—	7/15	1.5	—	—
はえぬき	8月7日頃	7/8	3.0	7/13	2.0	—	—	—
コシヒカリ	8月12日頃	—	—	—	—	—	7/28	1.0~1.5
中山間部								
はなの舞	8月2日頃	7/3	2.5~3.0	7/8	2.0	—	—	—
あきたこまち	8月5日頃	7/6	2.5~3.0	—	7/16	1.5	—	—

※緩効性肥料(一発穂肥)を使用する場合は、施用時期が出穂30日前ですので遅れないように施用しましょ。施用時期が遅れた場合は無理して施用せず、速効性肥料で対応しましょ。

※過剰な穂肥や遅い穂肥は、品質や食味を低下させるので、適正な穂肥に努めましょ。

※コシヒカリにコープショート21で穂肥をする場合、出穂25~20日前に1.0~1.5kg/10a(現物)施用しましょ。

## 「つや姫」情報 ☆☆☆☆ 生産者を募集しています。 ☆☆☆☆

平成22年デビューの「つや姫」を「品質・食味・安全を重視した高級感のある、おいしい米」として流通させるため、技術力の高い生産者を一定の要件で認定します。認定を受けるには、「つや姫」栽培適地内で、①基本要件、②面積要件、③栽培要件、④販売要件の4つの要件を満たすことが必要です。生産者の募集期間、は平成21年6月25日から9月10日までとなっています。

## ☆安全で安心な消費者に信頼される米づくりをめざそう！

- ◎ 農薬は使用する前によくラベルを読み、使用時期・使用方法を確認してから正しく使用しましょ。また、こまめに栽培記録(農薬・肥料の使用履歴、作業実施日等)を必ず記帳しましょ。
- ◎ 特別栽培(農薬・化学肥料の使用を慣行の半分)など、条件が合えば、環境にやさしい栽培方法も検討してみましょ。

☆山形県農業情報サイト「[あぐりん http://agrin.jp/](http://agrin.jp/)」では農薬(登録失効、適用情報等)についてなど、役立つ情報をいち早く知ることができます！

## 農作業安全はみんなの願い ~農作業事故ゼロ運動展開中~

新・米づくりやまがた日本一運動  
村山総合支庁農業技術普及課 (TEL:621-8294)